

「民間医局」のメディカル・プリンシプル社

メディカル・プリンシプル社とマイクロンが、共同で医師主導の
SaMD開発を促進するプラットフォームを立ち上げ

民間医局[®]

株式会社 メディカル・プリンシプル社



「民間医局」をブランドに掲げ、医師紹介業などを手掛ける株式会社メディカル・プリンシプル社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由良芳従、以下MP社）と、医療機器プログラムの開発支援で多くの実績を持つ株式会社マイクロン（本社：東京都港区、取締役社長：鈴木宏昌、以下マイクロン）は、医師主導による医療の質を高めるSaMD（Software as a Medical Device）の開発を促進させるプラットフォームを、共同で立ち上げます。

本取り組みは、臨床現場のニーズに応え、MP社が運営する、医療の質を向上させるための「医療の“あったらいいな”デザイン工房」を通じて、医師たちの創造力を結集させることから始まります。そこで、医師たちのアイデアを形にし、実際の開発を支援するプログラムを提供いたします。さらに、多くの開発企業との協力を経て、そこから生まれた医療機器プログラムが、マイクロンの薬事申請支援を受けて、社会実装されていく流れを共同で形成していく予定です。

MP社とマイクロンは、今後も医療現場から生まれる革新的なアイデアが、社会に広く実装されることを目指して、様々な取り組みを行ってまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社メディカル・プリンシプル社 事業開発〔新企画〕

TEL : 03-4565-9401

E-mail: contact_bd@medical-principle.co.jp

URL : <https://www.medical-principle.co.jp/>

株式会社マイクロン INDICATE担当

E-mail: indicate@micron-kobe.com

URL : <https://micron-kobe.com/>

■株式会社メディカル・プリンシプル社 会社概要

本 社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設 立：1997年1月

代 表 者：代表取締役社長 由良芳従

拠 点：東京(本社)・大阪・札幌・仙台・さいたま・横浜・船橋・高崎・金沢・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇

事業内容：医師等 職業紹介業、医学生・研修医臨床研修支援サービス事業、医療界向け情報提供事業

事業概要：「民間医局」をブランドに掲げ、医師紹介業を中心に、医療業界への多面的なサポート事業を行っています。

医師の紹介事業「民間医局」における医師・医学生の登録会員数は約163,000人、契約医療機関約17,000施設に対し、年間約71,000件の紹介を行っています。また、臨床研修支援サービスとして日本最大規模の研修病院合同説明会「レジナビFair」を全国で開催し、研修医・医学生向けWeb説明会「レジナビFairオンライン」や、医師向け月刊ヒューマンドキュメント誌「DOCTOR'S MAGAZINE」、医師の情報収集Webサイト「民間医局コネクト」などの事業を展開しています。

U R L：<https://www.medical-principle.co.jp/> (コーポレートサイト)

<https://www.doctor-agent.com/> (医師のための求人情報検索サイト「民間医局」)

■株式会社マイクロン 会社概要

マイクロンは「医用画像」を診断と治療の両面からアプローチし、医療全体への貢献を目指し、2005年に設立されたCROである。創業以来、医療品／医療機器の臨床開発における画像解析のみならず、臨床研究や医師主導治験の総合的なサポート、イメージングバイオマーカーの開発支援、画像解析ソフトウェアの提供、およびPET施設立ち上げ支援など、画像を用いた臨床試験を総合的にサポートできる国内唯一のCROとして様々な活動を行っている。

数年前からは、医療機器プログラム(SaMD製品)の開発や医療機器承認・認証取得の支援及び製造販売等を展開している。特に開発支援サービスは、日本国内だけでなく、国外のSaMD製品開発会社からの引き合いが多く、日本国内におけるSaMD製品の認証・承認取得支援件数は継続中のものを含め、2024年6月時点で75件に上る。

「診断と治療の懸け橋支援」をテーマに立ち上げた新プロジェクト「INDICATE」(INnovative Diagnostic Capabilities Adoption To End-users delivers innovative technology to your doorstep)では、AI搭載など、先進的な技術を持った医療機器等の導入、紹介、提案を実施している。日本国内に医療機器プログラムやデジタルヘルス機器を導入したいという国内外の企業と、先進的な技術に興味を持つ製薬企業・医療機器企業様との懸け橋になり、今後さらに医用画像に関連した技術をはじめとしたデジタルヘルスケア技術の発展に貢献していく。

U R L：<https://micron-kobe.com/archives/works/indicate> (INDICATEサイト)